

第 3 次教育振興基本計画の構成（案）について

1 計画の構成（案）について

計画の構成については、これまでの計画体系を基本的に踏襲しつつ、内容をより分かりやすくするため、次のとおり見直しを行う。

- (1) 基本方針の数を集約（8→4～5 程度）
- (2) 基本方針の下位に新たに基本施策を設定（方針ごとに 3～5 程度）
- (3) 基本施策ごとに成果指標を設定

【計画の構成】

《第 2 次計画》※ [] 内は設定数

基本理念 [1]
基本目標 [3]
基本方針 [8]
R 6 実施計画事業 [71] ※指標有



《第 3 次計画（案）》

基本理念 [1]
基本目標 [3]
基本方針 [4～5]
基本施策 [方針ごとに 3～5] ※指標有
R 7 実施計画事業（予定）[71] ※指標有

【見直しの考え方】

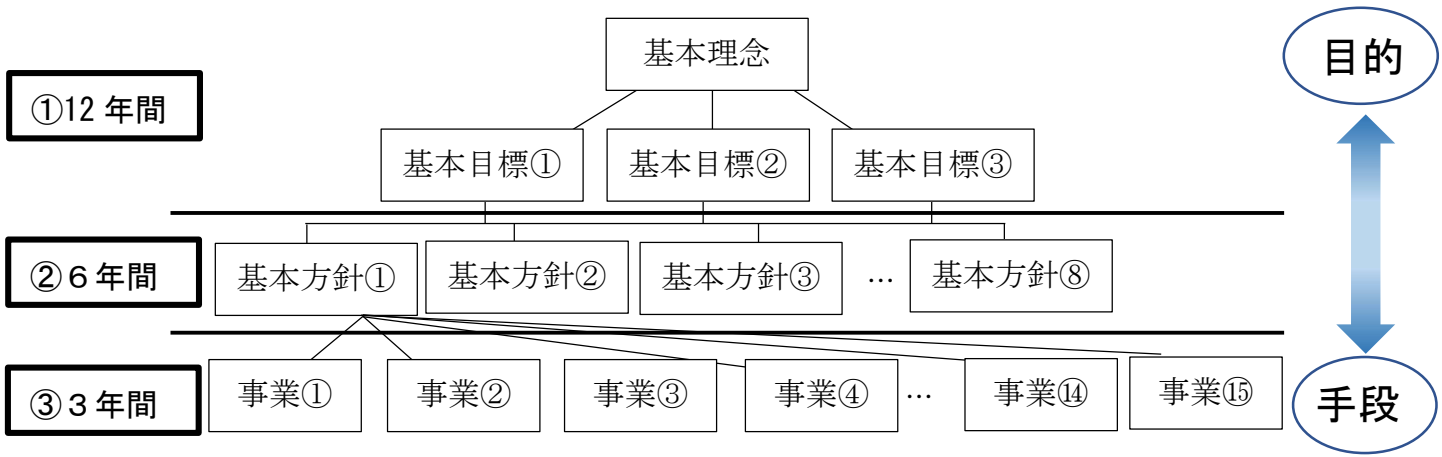
No.	第 2 次計画構成の課題	見直しの考え方	改善策	期待される効果
1	方針数が多く、計画の全体像が理解しにくい	段階的に理解できる構造に整理	基本方針 → 基本施策 → 事業 の 3 階層に再構築	計画の目的と手段の関係が明確になり、体系的な理解がしやすくなる
2	一つの方針に多くの事業（最大 15 事業程度）が紐づき、方針内の個別事業の位置付けが分かりにくい	概念レベルを細分化し、関係性を明確にする	基本施策を設定し、事業をグルーピング	方針内の事業の位置付けが明瞭になり、方針に基づく取組内容を直感的に把握できる
3	方針ごとの進捗状況が分かりにくい	進捗状況の把握を容易にする	施策ごとに成果指標を設定	施策単位で進捗状況を可視化し、効果的な評価・改善ができる

2 その他

- (1) 基本目標や基本方針への成果指標設定の要否については、今後検討する。
- (2) 第 2 次計画に位置付けている「安心」や「協働」のように計画を支える基盤や計画全体を横断して求められる視点の有無及びその位置付けの要否については、今後検討する。

【参考：イメージ図】

《第2次計画》



《第3次計画（案）》

